

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所chouchou本庄		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 9日		～ 令和6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 9日		～ 令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子供及び保護者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の療育の他に保護者からのニーズを聞き保護者支援にも力を入れている ・毎日の活動の中にも楽しさを盛り込むよう工夫しお子様が通って楽しいと思えるような環境作りも行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを優先している反面地域との交流は薄くなってしまっている為、地域への働きかけを行っていく必要がある。
2	・様々な場面でお子様の出来ているところ、頑張れているところを褒め自己肯定感を上げる対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様一人一人の行動や発言に対してよく観察し褒めポイントを見つけ日々プラスな言葉かけを行うと共にスタッフ全員で共有し事業所全体を明るくする事業所になるような対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に新しい頑張りを見つけていくために観察力を養っていけるようスタッフ間のコミュニケーションもより円滑に進めていきたい。
3	・一日預かりなため保育園や幼稚園のような流れで過ごすことが出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の支度や活動、お昼、自由時間等一日のメリハリをつけている。 ・午睡もあるため生活動作の療育にも力が入れている ・就労している保護者のニーズも受け入れやすい環境である 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応のニーズもあるため時間の使い方を直し回数多く対応できる時間を設けていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域、保護者同士の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・開催出来る場所の確保が難しい ・就労している保護者が多く時間調整が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催出来る場所を探し連絡調整を行っていく。 ・半年前から計画し早めに通知を出し無理なく参加できるような段取りを行っていく。
2	・スタッフのスキルや保護者対応に差が出ている場面があるため「スタッフによって対応の差がある」と保護者からの声が上がっている	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数の差があることで統一した支援にばらつきが出てしまっている ・療育への知識の差もあって保護者からの相談や支援内容の伝え方が薄くなってしまっていることが考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部の研修参加や勉強会を増やし全体の底上げを行っていく。
3	子どもの様子を見ていただく機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントでは保護者参加を行っているが通常の様子を見ていただく機会を作っていない ・保護者がくることでお子様の気持ちが不安定になり通常の様子を見ることが出来ないことが懸念されるため実施にためらいが起きている 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内で見る他にZOOM等を使いオンラインで様子が見られるような対応をしていく